

大井中だより

第2号 令和2年5月1日 発行

<http://www.fujimino.ed.jp/ojhs>

心豊かでたくましい生徒



臨時休校の日々を有効に過ごそう

校長 榎本一夫

皆さんこんにちは 4月8日の入学式・始業式後の臨時休校がまもなく1か月になろうとしています。元気に有意義な日々を過ごせていますか？

先日、補助教材を受け取りに来た時に、ちょっとだけでも皆さんと会えてとても嬉しく思っています。臨時休校が5月31日まで延長になってしまいましたが、新型コロナウイルスが早く収束して学校が再開し、みんなに会えることを祈っています。

さて、皆さんは家でどのように過ごしていますか？今年の大連休は、外出ができないので残念ですが、家でできる趣味などで楽しく過ごしてほしいと思っています。そこで、私からは読書を勧めます。この臨時休校中も含め、家でたくさん本と出会い、読書の楽しみを味わってほしいのです。

では、読書の楽しみとは何でしょうか。私が初めてしっかり読書したと覚えているのは、小学校2年生の時に課題図書だった「さとののじてんしゃ」です。ちょうどその頃、私も自転車に乗れるようになり、うれしさに共感するとともに、自転車の危険やお母さんの思いなども感じる事ができた1冊です。そして、その気持ちを「読書感想文」として表しました。

このように読書は、本の中の主人公と共感したりすることができます。また、自分の人生では味わえない、他の人の人生を体験できたり、時空を超えて、過去や未来の世界を体験できたりもします。さらに、歴史上の人物と友人になることもできます。小説などの中のような場面で、登場人物の考え方や気持ちを知ることによって、日常生活の中で自分の言動に活かしたり、人の気持ちを想像し



たりすることもできるようになります。

小説に限らず、本は多くの人の知恵や知識が凝縮されています。正しい日本語、美しい日本語という点でも、著者だけでなく、編集の関係者が何度も書き直し、言葉を選んで完成させたわけですから、ネットやソーシャルメディアなどで表現された文章では学べない言葉や表現を学ぶことで、語彙力や表現力を高めることもできるのです。そして、このことは皆さんの人格を高め、人生をより豊かなものにしてくれるでしょう。

それでは、皆さんはどんな本を読めばよいのでしょうか？ 難しく考える必要はありません。好きなジャンルの読みたい本を読めばよいのです。それでも、「お勧めは？」と聞かれたら文部科学省のホームページにある「子供の学び応援サイト」(臨時休業期間における学習支援コンテンツポータルサイト)の中に、「子供の読書キャンペーン～きみの1冊をさがそう～」のページがありますので、そこを参考にするのもよいと思います。(下にリンクを貼っておきます。)

また、本の入手も大変ですよね。購入するにはお金がかかりますし、市の図書館は閉館中です。そこで、5月11日以降、火曜日と木曜日に本校の図書館で本を借りられるようにしたいと思います。詳細については、後日連絡します。

ぜひこの時期に、様々な分野の本をたくさん読んでください。私も明日からの5連休は家で適度に身体を動かしながら、読書に親しみたいと思っています。そして学校が再開したら、皆さんと読書について語れると嬉しいです。その日を楽しみにしています。

最後に、皆さんの中にも、身体を動かしたくてうずうずしている人もたくさんいることでしょう。でも今は我慢してください。再開したら、思いっきり部活動や運動をして、発散してほしいと思っています。

子供の読書キャンペーン～きみの1冊をさがそう～

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00480.html

入学式・新入生歓迎会の生徒代表の言葉

今年は、入学式は挙行できましたが、2、3年生の参加ができませんでした。また、毎年実施している新入生歓迎会も開催できず残念に思っています。そこで、代表生徒の言葉をここで紹介させていただきます。

新入生代表の言葉 1年5組 I・Yさん

暖かな春の訪れとともに、私たちは大井中学校の入学式を迎えることとなりました。

私たちが世界的災害コロナウィルスの影響の中、この日を迎えることができたのは、ご尽力してくださっている先生方、家族や地域の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

本日から私たちは中学生になりました。小学校とは違い、難しくなる授業や部活動など新しい環境となります。

このような大変な状況ではありますが、私たちは大井中学校での3年間、たゆみなく努力し、あらゆることに果敢に挑戦し、次世代を担う礎を見つけたいと思います。

学校生活では様々な困難に直面すると思います。その中には、私たちだけで解決できないこともあると思います。その時は、皆様、私たち新入生を温かい目で見守り、ご指導くださいますようお願いいたします。

2、3年生代表の言葉 3年2組 W・Aさん

新入生のみなさん御入学おめでとうございます。2年前の今日、私たちがそうだったように、みなさんはこれから始まる中学校生活に期待や不安を抱えていることと思います。しかし、そんな不安はすぐに消えていきます。

私がそれを実感したのは体育祭でした。クラスでの関わりが増えていき胸の中にあった不安が少しずつ期待へと変わっていきました。作戦を考えたり、練習方法を考えたりして団結力が高まりました。本番でも声が枯れるほど応援し合い、応援されたときはみんなのために自分の持っている最大限の力を出し切りました。クラスの仲間と協力したことで、これからの生活が楽しみだと思えるようになりました。

部活動では、大会や試合に向かって全員で練習に取り組む、小学校にはない楽しさがあります。部員と一緒に目標を達成したときは涙が出るほどうれしかったです。また、うまくいなくても声を掛け合い励まし合うことで背中を押され、頑張ろうという気持ちにつながりました。後ろに座っている先輩の中にも仲間からの励ましや応援を受けたから頑張っただけの人もたくさんいると思います。

他にも校外学習、合唱祭、球技大会などのさまざまな行事や日々の授業を通して、みなさんにも充実した生活を送ってほしいと思います。そのためには、協力して取り組むことが大切です。行事や部活動で、力を合わせて活動すると仲が深まり、目標を達成することができます。また、勉強面では教え合うとわからなかったことがわかるようになります。

今日からみなさんも大井中生の一員となります。中学校生活は自分たちが思っているよりあっという間です。だから、一年生のみなさんには、積極的に仲間と関わり、お互いの良さを認めて、自分らしく輝いてほしいと思います。みなさんの送る中学校生活がより楽しいものになるよう、私たちも協力していきます。これからの大井中学校を一緒に作り上げていきましょう。

新入生歓迎会の言葉 3年4組 I・Rさん

新入生のみなさん、御入学おめでとうございます。私たちはみなさんが入学するのを心から楽しみに待っていました。みなさんは今どんな気持ちでしょうか。今はまだ不安もあると思います。私たちもそうでした。しかし、そのような不安は時間とともに晴れていくと思います。一人一人が夢や期待を実現できるように充実した生活を送ってください。

充実した生活にするために実践してほしいことがあります。それは何事にも全力で取り組むことです。

中学校にはたくさんの行事があります。体育祭や合唱祭ではさまざまな課題が浮かび上がります。体育祭の大縄では、跳べないことを誰かの責任にし、雰囲気が悪くなることもあります。けれど、本番の日が近づくにつれて、跳べる回数も増え、一体感が生まれてきます。みんなで何度も練習することでクラスの団結力が高まっていきます。

合唱祭では、大きな声を出し、良い曲にしようと努力し、自分たちを高めていきます。ときにはクラスがバラバラになることもあるかもしれませんが、しかし、学級委員や実行委員を中心に積極的な呼びかけをしようことでクラスが一つとなり、最高の合唱祭にすることができます。

すばらしい行事にするためには一人一人が本気で向き合い、よりよいものにしようと考えることが大切です。また、学年の枠を取り払い、互いを励まし、その場の雰囲気を共有してください。そうすれば全員で一体感を味わえると思います。

だから、何事も全力で取り組んでください。全力で取り組んだ先に、友情や充実感が得られると思います。もし、自分が何かにつまずいたとき、自ら行動してみてください。もちろん困ったことがあったら、ぜひ私たち先輩に聞いてください。こちら「全力」で応えます。ここにいる全員で大井中学校を創り上げていきましょう。